

1. 産業廃棄物処理施設の構造及び設備

(1) 施設名称及び施設の主要な設備の型式、構造、主要寸法、能力

施設・設備・装置・機器名称		型 式	構 造	主 要 寸 法	能 力	備 考
中核設備	施設名 例：破砕機	メーカー名 型番	処理方式 動力・容量等 台数 例：二軸破砕 ○V ○kW×1基	w○×d○×h○	廃プラスチック類 ○ t/h 木くず ○ t/h がれき類 ○ t/h ※処理品目が複数ある場合、品目ごとに処理能力を記載してください。	・処理能力計算書：添付○のとおり。 ・構造計算書：添付○のとおり。 ・機器図：添付○図のとおり。
中核設備以外	※上記中核設備と機械的に直結する設備、技術基準に基づき設ける設備等を記載してください。 例：集じん機 脱臭装置	メーカー名 型番	処理方式 動力・容量等 台数 例：サイクロン ○V ○kW×1基 活性炭脱臭 ○V ○kW×1基	w○×d○×h○ w○×d○×h○	○ m ³ /h ○ m ³ /h	

※ 当該施設の構造を明らかにする平面図、立面図、断面図、構造図及び処理工程図、並びに必要な応じて設備能力の証明書類を添付すること。

2. 処理に伴って生ずる排ガス及び排水

(1) 排ガス

処 理 方 法	サイクロン集塵機及びバグフィルターを設け、消石灰、活性炭、重曹を噴霧し、ばいじん、硫黄酸化物、塩化水素、ダイオキシン類、全水銀を捕集・除去します。	
	接触触媒装置を設け、アンモニアを噴霧し窒素酸化物を除去します。	
	※排ガスが発生しない場合、施設の構造上、処理に伴う排ガスの発生がない旨を記載してください。	
排ガス量（m ³ N/h）	○（m ³ N/h）	(添付図等) ・処理フロー（○○図） ・処理施設への導入及び排出経路（○○図）
煙突の数	○ 本	
煙突の設置位置	添付○図のとおり。	
煙突の高さ（m）	○ m	

(2) 排水

処 理 方 法	※排水が発生しない場合、施設の構造上、処理に伴う排水の発生がない旨を記載してください。	
	なお、処理施設で水を使用するが排水は発生しない場合、排水が発生しない理由を説明してください。	
排水量（m ³ /日）	○（m ³ /日）	(添付図等) ・処理フロー（○○図） ・処理施設への導入及び排出経路（○○図） ・排水バランスシート
放流口の数	○ 箇所	
放流口の位置	添付○図のとおり。	
放流先	・河川（雨水○箇所）・海域（ ）・公共下水道（汚水○箇所）・その他（ ）	

該当しない場合は表に斜線を入れて「該当なし」と記載してください。

3. 設計計算上達成することができる生活環境への負荷に関する数値

(1) 大気質関係 排ガス計算の結果等を記載してください。

地点名称	排出ガス量 (Nm ³ /h)	排ガス温度 (°C)	大 気 汚 染 物 質								備 考
			ばいじん (g/m ³ N)	C O (ppm)	S O x (ppm)	N O x (ppm)	H C 1 (mg/m ³ N)	ダイキソソ類 (ng-TEQ/m ³ N)	全水銀 (μg/m ³ N)		
煙突出口	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇 (〇〇ppm)	〇〇	〇〇		標準酸素濃度 〇〇%

(2) 水質又は地下水関係

地点名称	排水量 (m ³ /日)	p H	B O D (mg/l)	C O D (mg/l)	S S (mg/l)	ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/l)		そ の 他 該 当 項 目 (mg/l)				備 考
						鉱油類	動植物油類					
放流口〇〇	〇〇	〇〇以上 〇〇以下	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇					

(3) 騒音関係 生活環境影響調査の結果等を記載してください。

地 点 名 称	騒音レベル (dB)
地点〇〇、地点〇〇 地点〇〇、地点〇〇	最大〇〇 (6:00~8:00) 最大〇〇 (8:00~18:00)

(4) 振動関係 生活環境影響調査の結果等を記載してください。

地 点 名 称	振動レベル (dB)
地点〇〇、地点〇〇 地点〇〇、地点〇〇	最大〇〇 (8:00~19:00)

(5) 悪臭関係 生活環境影響調査の結果等を記載してください。

地点名称	臭気指数	臭 気 物 質 (ppm)							
地点〇〇 地点〇〇 地点〇〇 地点〇〇 脱臭装置排出口	最大〇〇	ア ン モ ニ ア	メチルメルカプタン	硫 化 水 素	硫 化 メチル	二 硫 化 メチル	トリメチルアミン	アセトアルデヒド	プロピオンアルデヒド
		〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
		ノルマルブチルアルデヒド	イソブチルアルデヒド	ノルマルペンチルアルデヒド	イソペンチルアルデヒド	イソフタノール	酢 酸 エチル	メチルイソブチルケトン	トル エ ン
		〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
	〇〇	ス チ レ ン	キ シ レ ン	フ ロ ヒ ° オ ン 酸	ノルマル 酪 酸	ノルマル 吉 草 酸	イソ 吉 草 酸		
		〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇		

規制基準値、協定値、自主管理値等を記載してください。
該当しない場合は表に斜線を入れて「該当なし」と記載してください。

4. 周辺地域の生活環境の保全のため達成することとした数値

(1) 大気質関係

地点名称	排出ガス量 (Nm ³ /h)	排ガス温度 (°C)	大 気 汚 染 物 質								備 考
			ばいじん (g/m ³ N)	C O (ppm)	S O x (ppm)	N O x (ppm)	H C 1 (mg/m ³ N)	ダイキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	全水銀 (μg/m ³ N)		
煙突出口	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇 (〇〇ppm)	〇〇	〇〇		標準酸素濃度 〇〇%

(2) 水質又は地下水関係

地点名称	排水量 (m ³ /日)	p H	B O D (mg/l)	C O D (mg/l)	S S (mg/l)	ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/l)		そ の 他 該 当 項 目 (mg/l)				備 考
						鉱油類	動植物油類					
放流口〇〇	〇〇	〇〇以上 〇〇以下	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇					

(3) 騒音関係

地 点 名 称	騒音レベル (dB)
地点〇〇、地点〇〇 地点〇〇、地点〇〇	最大〇〇 (6:00~8:00) 最大〇〇 (8:00~18:00)

(4) 振動関係

地 点 名 称	振動レベル (dB)
地点〇〇、地点〇〇 地点〇〇、地点〇〇	最大〇〇 (8:00~19:00)

(5) 悪臭関係

地点名称	臭気指数	臭 気 物 質 (ppm)							
地点〇〇 地点〇〇 地点〇〇 地点〇〇 脱臭装置排出口	最大〇〇	ア ン モ ニ ア	メチルメルカプタン	硫 化 水 素	硫 化 メチル	二 硫 化 メチル	トリメチルアミン	アセトアルデヒド	プロピオンアルデヒド
		〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
		ノルマルブチルアルデヒド	イソブチルアルデヒド	ノルマルペンチルアルデヒド	イソペンチルアルデヒド	イソフタノール	酢 酸 エチル	メチルイソブチルケトン	ト ル エ ン
		〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
	〇〇	ス チ レ ン	キ シ レ ン	フ ロ ヒ ° オ ン 酸	ノルマル酪 酸	ノルマル吉草酸	イソ吉草酸		
		〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇		

該当しない場合は表に斜線を入れて「該当なし」と記載してください。

5. 排ガスの性状及び放流水の水質の測定頻度

(1) 排ガス性状

測定箇所	測定項目	測定頻度

(2) 放流水質

測定箇所	測定項目	測定頻度

6. その他産業廃棄物処理施設の維持管理に関する事項

例：施設の正常な機能を維持するため、日常／隔週／月例で点検、及び機能検査、並びに毎年メーカーによる定期点検を実施する。
維持管理体制を確立し、点検等により見つかった異常は速やかに補修するとともに、点検結果に基づき整備計画を策定し計画的に保守を行う。
点検結果・補修内容・整備計画等は維持管理体制の構成員で共有し、施設の健全性を組織的に管理する。
緊急連絡体制を確立し、連絡表を現場に掲示、事故時対応マニュアルを策定し安全教育を行うとともに安全対策を実施する。